

2024年12月10日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

**「2024年度IT賞」における「IT奨励賞」の受賞について**

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、公益社団法人企業情報化協会（以下「IT協会」）が主催する「2024年度IT賞」において、「データドリブンを加速させる内製BIプラットフォーム『Intelligence Hub<sup>※</sup>』の構築と活用」（以下「本プロジェクト」）が評価され、「IT奨励賞（トランスフォーメーション領域）」を受賞したことをお知らせします。

IT賞は、IT協会が、「ITを高度に活用したビジネス革新」に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人を表彰しています。

SMFLは、業務で扱うシステムデータが、さまざまな場所に存在しており、不明確なルートでのデータ取得、各部門や担当者ごとの属人的なデータ管理など、データ活用における全社的な統制に課題を抱えていました。このような課題を解決し、データドリブン経営を促進する基盤機能として、内製BIプラットフォーム「Intelligence Hub」を構築しました。本プロジェクトは、プラットフォームのユーザーとデータマネジメント部を中心とするさまざまな部署が協働することで、大部分を内製で開発し、全ての社員が実務で活用できるプラットフォームの構築に成功しました。

今後は、「Intelligence Hub」と生成AIを組み合わせることにより、データ分析から得られるインサイトをAIが提供し、それらを活用した新規ビジネスの創出や経営戦略の立案の支援を目指します。また、「Intelligence Hub」の活用により、顧客データや物件データを拡充し、営業活動の効率化やサーキュラーエコノミービジネスにも貢献していきます。

■ データマネジメント部について

本プロジェクトをリードしたデータマネジメント部は、データに関する各種領域の専門人材により構成されたスペシャリスト組織です。SMFLグループにおけるデータ活用の推進や、データとAIを活用した全社的な施策に取り組んでいます。お客さまや社会の基盤となるデータドリブン経営の実現を目指し、幅広い分野で活動しています。

※Intelligence Hub：商標出願予定

2024年度（第42回）IT賞 受賞企業：<https://jiit.or.jp/awards/it/>

以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社

広報IR部

山本

TEL 03-5219-6334